

鬼は外 福は内 節分イベントが行われました



▲みんなで豆まきイベントを楽しみました(こども園)

ぶなのもりこども園・只見保育所では2月3日に豆まきが行われました。豆まきのお話を聞き由来を学ぶなどした後、ひまわり組から下のクラスの子どもたちの「おにはーそと、ふくはーうち」の元気な掛け声に合わせて、さくら組の子どもたちが豆まきを行いました。

また、2月4日にははかるがもクラブで節分イベントが行われ、参加した親子が鬼のお面を作ったり、鬼退治をしたりしました。

雪の中で観察会

ブナセンター「豪雪のブナ林観察会」開催

只見町ブナセンターは「豪雪のブナ林観察会」を2月21日に深沢の森で開催し、町内外から31人が参加しました。

観察会では、薪ボイラー棟を見学し、森林を育てることと薪エネルギーとして利用することの意味について学びました。そして、ブナの巨木に会いに斜面を登り、そびえたつブナの巨木が現在まで残った理由を考えました。子どもたちは斜面を『ゲスゾリ』で滑り降りて楽しみました。さらに、降ってくる雪と降り積もった雪についての観察に加え、雪崩の危険性を判断するテストが実演され、雪に対する理解を深めました。最後は、ブナ林の樹木の葉や枝を使った樹木茶を楽しみました。

当日は晴天と堅雪に恵まれ、気持ちの良い観察会となりました。



▲ブナの巨木の前で記念撮影

高校生と食改がメニュー開発

「健康チャレンジレシピ発表会」で発表

地元食材を生かした「おいしくてヘルシーなレシピ」の開発への取り組みの成果発表会である「南会津ならではの健康チャレンジレシピ完成発表会」が1月20日に開催されました。



▲発表を行った只見高校生と食改の皆さん

山際食彩工房の山際さんらが審査員を務め、参加団体の発表を聞きながら実際に試食し、審査を行いました。

只見町は、只見高校生と食生活改善推進員が協同で開発にあたり、高校生のアイデアと食生活改善推進員の知識・経験を生かした「塩麴マトン」、「甘酒スコーン(きな粉、トマト)」を発表しました。

只見町のレシピに対し、審査員から「マトンが柔らかかった」、「米粉が使われておりヘルシー」などの意見が挙げられ、好評でした。